

紅葉の微妙な色の違いを

ゲームを通して実感！

札幌市立幌南小学校 笹 澄子

秋の色鮮やかな木々の紅葉は、その刻々と変化することこそ味わいがあるもの。しかし、様々な情報や映像があふれる中、子どもたちの目にはなかなか映りません。自然の色を見分ける目を養い、同じ『赤』でも種類によって、場所によって、時期によって様々な色あいがあることを実感させるゲームです。

まず 緑・赤・黄色の色画用紙を切って準備をします。色画用紙にも様々な色の違いがありますから、探してみてください。

木の下の黄色と、
池の岸の黄色

イチョウの黄色は

次に 様々な樹種があり、適当な広さのある活動場所を選定します。広さは人数とも関係します。あまり混み合ってもいけません。

そして 子どもたちが、黄色や赤の葉を拾って来るようになったら、実施のチャンス到来です。



全然違うんだね！

4～5人のチームをつくり、2つのチームに同じ色を指定します。一人一人が色カードを持って、そっくりの色の葉を探しに出かけます。同じチーム内では、交流もOK！制限時間を決めて『これぞ！』と思う葉を一枚選んで来る約束にしましょう。

まずは、チーム内でそっくりチャンピオンを決め、次に対抗チームとの決戦をします。チャンピオンが決まったら、その木の場所や名前などを知らせると、関心が出てきます。ある程度の期間を置いて2度目を実施するのも変化に気付くチャンスです。